

ボランティア通信 2022. 4 Vol. 248



# なかま

発行 交野市ボランティアグループ連絡会  
(交野市ボランティアセンター内)

V連絡会 E-mail katano.vltr94@gmail.com  
※メールアドレスが新しくなりました。

Vセンター E-mail katabora1994@katano-shakyo.com



ボランティアを  
紹介してほしい人  
ボランティア活動を  
はじめたい人  
ボランティアセンターに  
お問い合わせください  
(Tel 894-3737)  
(Fax 891-3340)

## 「関わり」を大切に

会長 梶 記代美

今年度もコロナ禍での活動になりそうです。人と接することを避けなければならない環境にありますが、連絡会はあえて「人と関わる」活動をしたいと考えています。ボランティアを通じて、連絡会の仲間だけではなく、いろいろな人たちと関わっていきます。

昨年度は、役員が各グループを訪問しました。また、リーダーのみの対象となりましたが、連絡会役員として出席した会議で出会った人をお招きして、講演会を開催しました。関わる中でお互いに気づいたことがたくさんあり、また新たな関わりにもつながりました。

まだまだ制限されることが多いですが、今年度も引き続き工夫しながら、できることをやっていきたいと思えます。情勢に応じて形は変えつつも、私たちのボランティア活動がこれからも続けていけるよう、一緒にやっていきましょう。



健康に気をつけて2年間頑張るぞ!(馬場)

適切なアドバイスを心がけます。(川下)

定年なしの活躍の場いつまでも元気で楽しく。(栗原)

人との出会いを大切に今後も頑張ります。(庄田)

みんなで手をつなぎ楽しいボランティア活動を(前田)

厳しい日々ですが力を合わせて前へ!!(菊田)

継続は力なり。5期目ですが、引き続きよろしくお願いします。(和久田)

皆さんと一緒に連絡会活動に取り組めます。よろしくお願いします。(梶)

**みなさんよろしくお祈いします**  
— 新役員・顧問の抱負 —

## ボランティアサロン 介護衣料ってどんなこと?

誰でも気軽に参加でき、ボランティアに関して、「知る、学ぶ、交流する」サロンを開催しています。

「脱ぎ着ししやすい」「脱ぎ着をさせやすい」工夫をすることで、体の不自由な方や、介護をしている方の暮らしを応援しているボランティア活動があります。

手持ちの服や既製服をほどこく、布を足す、ファスナーやボタンを付ける等の作業もありますよ。ほどこくだけでも参加してみませんか?

### 実施要項

- とき: 6月7日(火) 午前10時~12時
- ところ: 交野市ボランティアセンター1階
- 講師: 介護衣料手作り「糸ぐるま」
- 内容: 活動紹介・体験
- 対象: 市内周辺在住・在勤・在学者
- 定員: 10人(事前申込制)
- 参加費: 無料
- 申し込み先: 交野市ボランティアセンター
- ☎: 072-894-3737
- FAX: 072-891-3340



## 寄付金7万44円をいただきました

### 歌のボランティア「たんぽぽ」さんから

歌のボランティアとして長年活動を続けられてこられました「たんぽぽ」(ボランティアセンター登録)さんが、今年3月でグループを解散されることになりました。

解散に伴いグループの活動費7万44円を連絡会に寄付金としていただきました。

貴重な資金をご寄付いただきました「たんぽぽ」の皆様には感謝申し上げますと共に寄付金の有効活用に向けてまいります。

「たんぽぽ」の皆様のお一人おひとりのご健勝を心からお祈り申し上げます。ありがとうございます。

## リーダー会議

【3月22日】

- ☆会長挨拶
- ・Vセンター登録団体「たんぽぽ」から寄付金受領(4頁参照)
- ☆連絡会から
- ・令和4年度連絡会活動概要
- ・新年度リーダー会議について
- ・車いすダンス「ひまわり」の連絡会退会を承認(2頁参照)
- ・令和4年度各グループ予算書の提出(3月22日締切り)
- ・令和3年度各グループ決算書の提出期限(4月15日まで)
- ・連絡会備品、倉庫等の整理
- ☆Vセンターから
- ・グループ活動記録の提出について
- ・登録グループ一覧表の確認
- ・ボランティア保険について
- ・コピー機の機種変更と使用法の変更について
- ・ボランティアグループ連絡会の活動紹介スライドを上映
- ☆各グループから
- ・新年度リーダー・サブリーダーの報告(2頁参照)
- ・現況報告(省略)
- 【2月22日】
- ☆連絡会から
- ・助成金について、令和4年度予算書及び令和3年度決算書の作成
- ・指名委員会報告(新年度役員候補者選考経過と候補者選定)

## 編集後記

▼2月に始まったロシアによるウクライナ侵攻は一カ月を超え、停戦会議も解決への糸口を見出せず泥沼化の様相を呈してきた。国連安全保障理事会も紛争解決に機能せず、国連のあり方にも問題ありといわざるを得ない。停戦の糸口を見出せない中、犠牲者がひららぬことを願うばかりだ。▼新型コロナウイルス感染症が発生から2年を経過したが終息に向かう気配が見えない。感染者が高止まりの状態のまま延防止等が解除されたが不安は残ったままだ。▼先の見通せない今日ではあるが気持ちくらは明るく、笑顔をやさず過ごしたいものだ。

- ・新年度役員選出及び顧問委嘱について承認(2頁参照)
- ・大阪府市町村ボランティア連絡会代表者会議及び河北ブロック交流会報告(3頁参照)
- ・今後のリーダー会議について、各グループで検討を依頼
- ☆Vセンターから
- ・令和4年度各グループメンバーの活動確認について
- ・ボランティアアサロンについて
- ☆各グループから
- ・現況報告(省略)
- ・4月のリーダー会議は26日(火)

# 新年度役員・リーダー・サブリーダー決まる

2022年4月から2年間の連絡会役員・顧問が2月のリーダー会議で承認されました。

新会長に前副会長の梶さん、前会長の菊田さんが副会長に就任ということ、全役員が留任することになりました。

リーダー・サブリーダーは下表の通り、各グループから報告を受けました。

コロナ禍の下、ボランティア活動もその影響を受け、困難な状況が続きますが、みんなで頑張っていきたいと思います。

役職	氏名(所属グループ)
会長	梶 記代美 (さつき/星の会)
副会長	菊田 広子 (あい/かざぐるま) 馬場 巡 (陽だまり)
書記	庄田 電子 (ふれんズ)
会計	前田 芳子 (あい)
会計監査	和久田 綾子 (さつき)
顧問	栗原 清美子 (かざぐるま/ほほえみ/糸ぐるま) 川下 武士 (虹の会)

グループ名	リーダー	サブリーダー	グループ名	リーダー	サブリーダー
在宅訪問「陽だまり」	馬場 巡	志波 久子	朗読「あい」	神原 洋子	日林 昌子 加藤 愛子
外出介助「かざぐるま」	森本 昌子	黒田 直美	障がい者との交流「ほほえみ」	山中 榮子	岩川 きわ
子育て広場「アリス」	勝野 豊子	岡本 彰子	障がい者施設支援「ふれんズ」	佃 静枝	中津川 美智恵
手話「さつき」	中越 久美子	一戸 麗子	介護衣料手作り「糸ぐるま」	林 志都江	島田 聖子 北川 千代子
要約筆記「星の会」	新里 幸子	岩淵 正子	おもちゃ作りとニュースポーツ・演芸「玉手箱」	岡崎 佳世子	作本 儀蔵
点訳「虹の会」	川下 武士	長濱 ゆか 大野木 ひろ子			

## お世話になっています！社協職員のみなさん！



**かざみ 各務さん** みなさんが「やりがい・生きがい」を持って活動できるようサポートしていきます。一緒に笑顔のあふれるボランティアセンターを作り上げていきましょう。



**てんば 天場さん** コロナ禍だからこそそのボランティアの活動方法をみなさんと一緒に考え、センターを盛り上げたいです。



**よしい 吉井さん** みなさんのサポートができればと思っています。センターに来られた際には気軽にお声かけください。

## 「ひまわり」が連絡会を退会

この度、「ひまわり」からボランティアグループ連絡会を退会する申出があり、リーダー会議で承認しました。リーダーの乾口さんから退会の経緯・今後のあり方などについて寄稿いただきました。

平成14年に産声をあげ、今年20年目を迎えるところで、諸般の事情が重なり、様々な方法を模索しましたが、この度、ボランティアグループ連絡会を退会する運びとなりました。

振り返りますと、いろいろな出来事が走馬燈の如く頭を駆け巡ります。訪問先で手をつなぎに行く、最初はぎこちなかった方が、徐々に心がほぐれてきて、終わる頃には、笑顔で「また来てネ」と涙ぐまれて感激！訪問先の方々と共に楽しい時間を持つことができ、今も考えると「ほっこり」とします。

今後の「ひまわり」の方針としては、ボランティアセンター登録団体として、今までの活動を無理せずできるような形で続けていこうと考えています。連絡会の皆様々々とお世話になり、ありがとうございました。

## 役員

### グループ訪問



介護衣料手作り 糸ぐるま

毎週火曜日にボランティアセンター1階で活動されています。体の不自由な方の衣服を機能的に着やすく改良したり、依頼カードに基づき、介護衣料の製作に取り組みまれます。訪問時には、寝たきりの方のズボンを製作中。既製のズボンをほどこき、両サイドをジッパーにして、扱いやすいようにします。車いすに乗れるときの肘当て、車いすに安全に乗れるように上着の丈の調整などを手作業やミシンでされています。コロナ禍で介護衣料を展示する機会がなくなりましたが、大変残念です。高齢者が増えていく中、介護衣料の需要は増えていくことと想われます。「糸ぐるま」の発展を願って訪問を終えました。



おもちゃ作りとニュースポーツ・演芸 玉手箱

定例会は毎月第3木曜日、おもちゃづくりのために開催しています。コロナ禍以前は、お祭り・文化祭・各種行事・各施設などのイベントで、子どもたちと一緒におもちゃを手作りし、一緒に交流を深めていました。しかし、コロナ禍で子どもたちと一緒に作ることもなくなり、グループの皆さんが作られたおもちゃを渡し、遊び方を説明するだけになってしまいました。

訪問日は、提灯ぶんぶん・アンパンマンのカスタネット等を作成しました。他にも、跳ねカエル・花風車・凧・コマ・親子風車・びっくり箱などを計画的に作製されています。コロナが収束し、子どもたちと一緒に笑顔溢れる活動が早くできるように頑張ってほしいものです。

## 手話「さつき」



1月14日(金)手話「さつき」を訪問させていただきました。

「さつき」は毎週金曜日午前、午後2階で活動されています。当日午後の部ではろう者(マスク着用)5名、グループの方(フェイスガード着用)6名で交互にU字型に座り、とても和やかに、また活発に手話されています。想像以上に会話が弾み楽しい時間が経過する感じがしました。

ちなみにグループの方のフェイスガードは口の動きで手話の内容をよく見ている手話ですが、それ以上に日常のコミュニケーションに使われている様子を体験することができました。

何よりろう者の皆さんがこの場に楽しく活動的に利用されていることに感動し、会場を後にしました。

## 《皆さんのご意見を》 ~より良い「なかま」を目指して~

2020年4月より、機関紙「なかま」の発行を年4回としました。皆さんのご意見をいただき、「なかま」を更に充実・発展させたいと思い、アンケートをとらせて頂きます(アンケートは、7月号で実施予定)。

- ・読んでいますか
- ・年4回発行について
- ・内容について
- ・配付方法について
- ・その他希望すること

以上の予定ですが、何かご希望がありましたら、広報委員・役員までお知らせください。

## 市町村ボランティア連絡会代表者会議開催

2月18日にZoomで開催された代表者会議は2021年度中間決算の報告後、ブロック別交流討論会となり、交野市ボランティアグループ連絡会は河北ブロック(7市)での意見交換に臨みました。

その中で新しい試みとして、訪問看護等に携わっておられる専門職の方々との交流について伝えました。

地域福祉の一翼を担っている専門職と私たちボランティアとの接点・関わりについて、まずは互いに知り合うこと、繋がることをスタートに福祉関係者も巻き込んだ新たなボランティア活動を模索して行こうというものです。